



●この説明書は必ず取付けされる方にお渡しください。

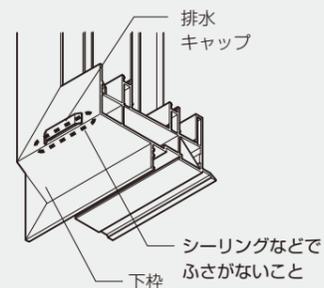
■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品は、製品重量が最大で250kg(ガラスなしで60kg)となりますので下記事項をお守りください。
- 必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
- 開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
- 製品を運んだり取付ける場合、重量に見合った人数で作業を行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 枠の室内側を躯体に固定してから障子を建込んでください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
- 本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
- 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
- 枠の上下を確認して正しく取付けてください。
- 外壁施工後、躯体と製品の取り合わせ部は必ずシーリングしてください。
- 排水キャップの排水穴はシーリングなどでふさがらないでください。
- 障子の建込み・建付け調整後、必ず召合せの外れ止めを上げてください。障子落下のおそれがあります。

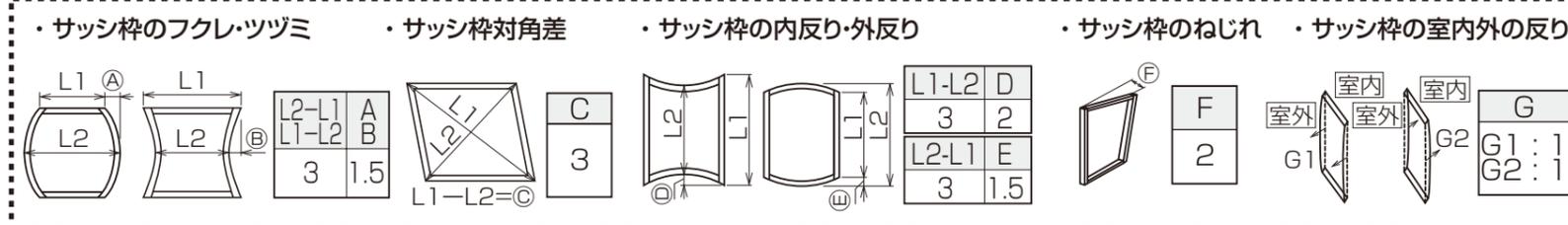


■取付け上のお願い

- サッシ(梱包品・完成品とも)は直射日光を避け、建物内の風通しのよい場所に保管してください。
- 樹脂は熱により変形するおそれがありますので、炎天下の屋外に放置しないでください。
- 樹脂の表面は傷つきやすいので、ぶついたり、こすったりしないでください。
- 樹脂部材をねじ止めする場合は、締めすぎないようにしてください。樹脂が割れたり、ねじが貫通するおそれがあります。
- 網戸の取付けは、網戸に同梱の説明書をご覧ください。
- シーリング材はシリコン系・変成シリコン系・ウレタン系が使用できます。ポリサルファイト系はサッシが変色するおそれがありますので、使用しないでください。なお、サッシとの接着性を高めるために、必ず指定のプライマーを使用してください。プライマーを塗布後プライマーを十分乾燥させてからシーリングを行ってください。プライマーの溶剤成分が残り表面のひび割れやハガレが発生するおそれがあります。
- ※清掃が必要な場合は、ノルマルヘキサンを使用してください。それ以外の有機溶剤は使用しないでください。サッシの変色や、表面のひび割れ、ハガレが発生するおそれがあります。
- 躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

■同梱部品一覧表

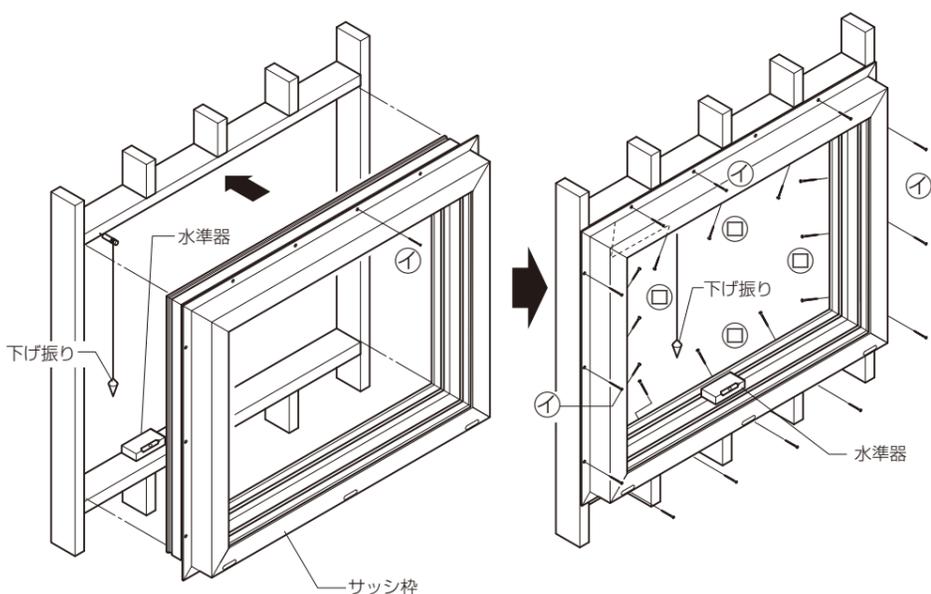
①		φ3.8×38木本ねじ(色なし) (室外側用)
②		φ3.8×38薄平木ねじ(色つき) (室内側用)
		補強アングルセット



■取付け順序

1 サッシ枠固定

- ①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。
- ②下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。

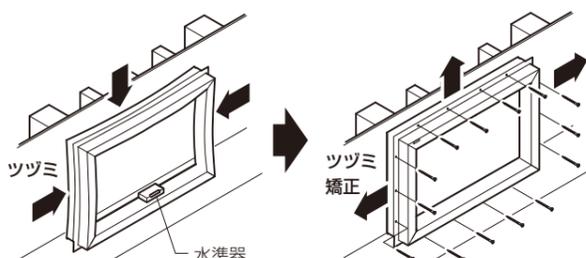


室外側

室外側

お願い

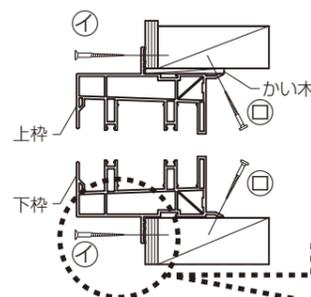
- ※「上」表示がある部材が上となります。
- ※枠の取付けの際には冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など不具合が生じるおそれがあります。
- ※樹脂サッシは構造的に枠の中央部がツツミになりやすいので取付けの際は、枠を矯正しながらねじで固定してください。



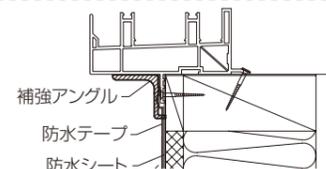
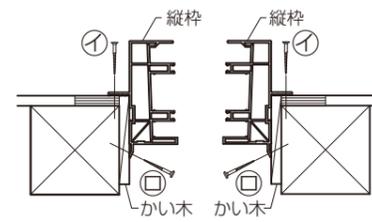
■取付け詳細

- ※①の枠取付けねじを先に固定してください。
- ※躯体とサッシにすき間がある状態で取付けると、気密材の当たりが弱くなり、気密性が悪くなります。すき間がある場合、必ずかい木を入れてください。

●縦断面図

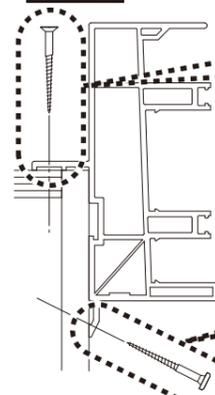


●横断面図

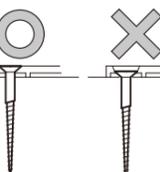


補強アングルセットが同梱されている場合は、必ず取り付けてください。取付け方は補強アングルセット内の取付け説明書を参照してください。

室外側

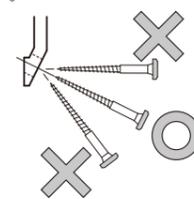


室内側



インパクトドライバーは使用しないでください。ねじが貫通したり、樹脂が割れるおそれがあります。

取付け穴に対してまっすぐに打ち込んでください。



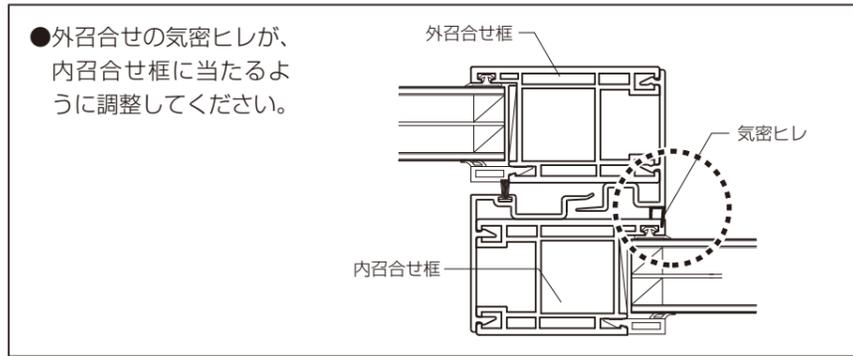
## 2 障子の建込み

● 枠の室内側が躯体に固定されていることを確認してから建込みます。

### ■ 建付け調整

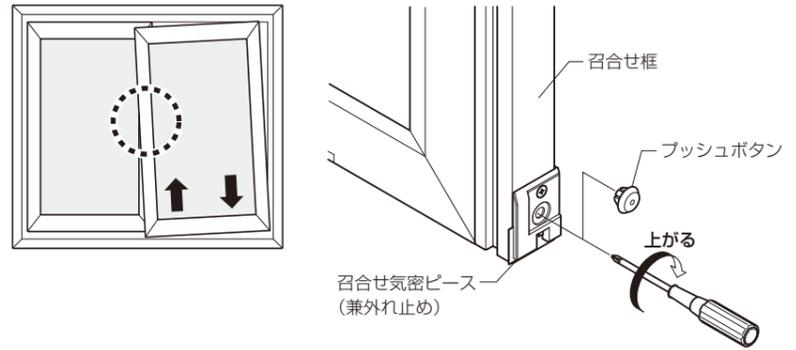
#### ● 召合せ枠を合わせます。

● 調整をしないと性能の低下や障子のガタツキが発生するおそれがあります。



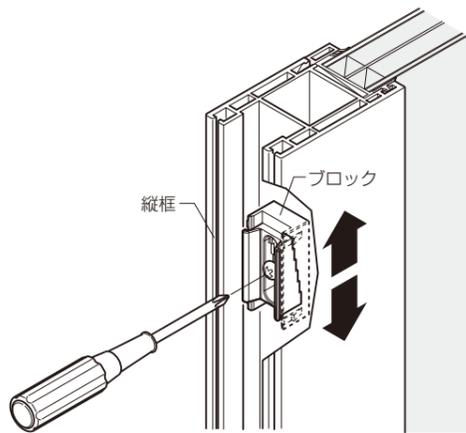
#### ■ 戸車調整

- ① プッシュボタンを外します。(調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。)
- ② プラスドライバーで中の戸車調整ねじを右に回すと障子が上に上がります。

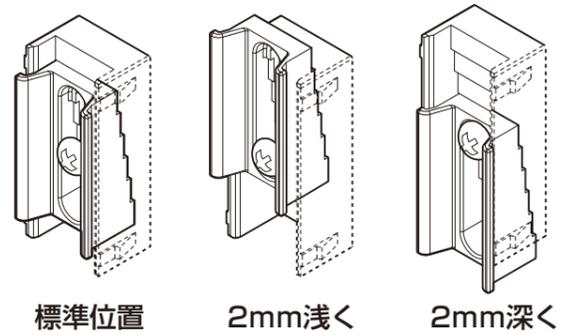


#### ■ 戸当たり振止めを調整

- ① プラスドライバーでねじをゆるめて、ブロックを上下に動かします。
- ② ねじを締め付けます。



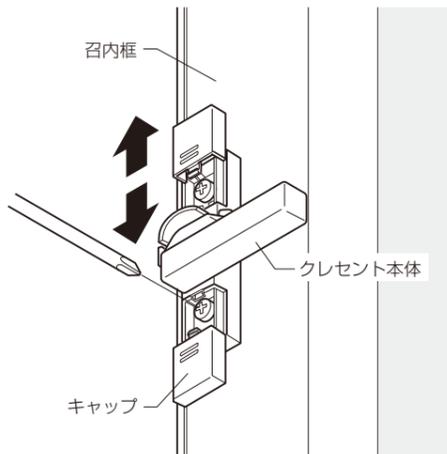
#### ■ 戸当たり振止め調整位置



#### ■ クレセント調整

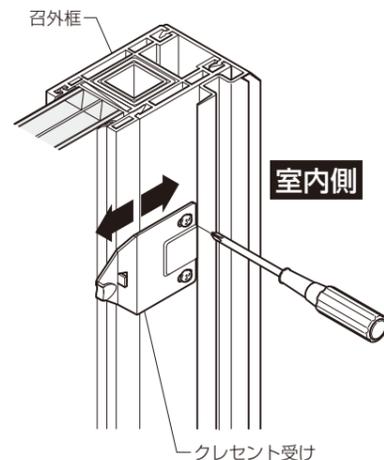
##### 【上下方向の調整】(クレセント本体)

- ① キャップを外します。
  - ② プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。



##### 【左右方向の調整】(クレセント受け)

- ① プラスドライバーでねじをゆるめて、クレセント受けを左右に動かします。
- ② ねじを締め付けます。

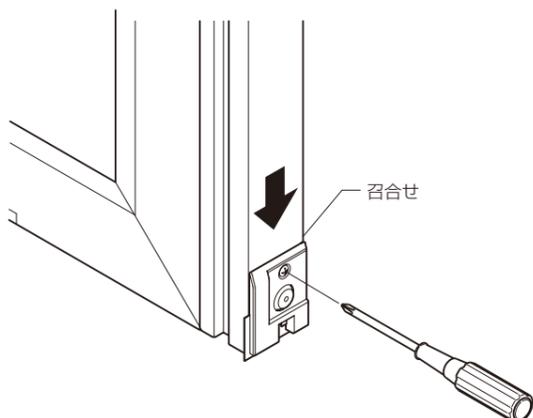


#### ■ 召合せ気密ピースの調整

● 戸車調整した場合は、召合せ下部の気密ピースも調整してください。

外障子・内障子とも調整します。

- ① プラスドライバーでねじをゆるめます。
  - ② 気密ピースを下げてすき間をなくします。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。  
※再度戸車調整をする場合には気密ピースをいったん上げてください。



#### ■ 外れ止めの調整

プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。  
※調整後はねじをしっかり締めてください。

#### ▲ 注意

- 必ず外れ止めを上げてください。  
障子が落下するおそれがあります。

